

山形県広報誌県民のあゆみ令和6年5月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和6年5月号 第639号

県民のあゆみ5月号

特集 令和6年度当初予算について（2ページ）

奏であう人 郷土の文化を守り、未来へとつなげる（8ページ）

潜入レポート！ 山形県流域下水道山形浄化センター（16ページ）

今月の表紙

自転車ヘルメット着用推進モデル校になっている村山産業高校の生徒のお二人。自転車ヘルメットの着用率向上を図るため、県では、自転車を利用する機会が多い高校生を対象に、ヘルメットの購入補助やモデル校での普及啓発などに取り組んでいます。（撮影協力：村山産業高等学校）

<2から5ページ>

タイトル

特集

人に寄りそい未来を見すえた県づくり予算

「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、時代の変化や直面する課題に対応しながら、未来を見すえ、安全・安心を土台に、県民誰もが個性や能力を発揮でき、将来にわたって地域の活力が持続する県づくりを推進するため、令和6年度当初予算を編成しました。今回は、その概要や主な事業を紹介します。（●新規、◎拡充）

詳しくは

<https://www.pref.yamagata.jp/020004/kensei/zaisei/yosan/r06/r6tousyo.html>

令和6年度一般会計予算 6,498億円

前年度比 318億円減、4.7パーセント減

（新型コロナ関連経費を除き、前年度比 58億円増、1.0パーセント増）

歳入 6,498億円

自主財源 3,302億円（50.8パーセント）／依存財源 3,196億円（49.2パーセント）／県税 1,103億円（17.0パーセント）／諸収入 1,192億円（18.3パーセント）／繰入金 367億円（5.7パーセント）／その他・自主財源 639億円（9.8パーセント）／地方交付税 1,826億円（28.1パーセント）／県債 450億円（6.9パーセント）／国庫支出金 665億円（10.2パーセント）／その

他・依存財源 255 億円 (3.9 パーセント)

歳出（目的別） 6,498 億円

教育費 1,109 億円 (17.1 パーセント) / 商工費 1,082 億円 (16.6 パーセント) / 公債費 890 億円 (13.7 パーセント) / 民生費 813 億円 (12.5 パーセント) / 土木費 615 億円 (9.5 パーセント) / 農林水産業費 382 億円 (5.9 パーセント) / 総務費 351 億円 (5.4 パーセント) / 警察費 275 億円 (4.2 パーセント) / 衛生費 229 億円 (3.5 パーセント) / その他 753 億円 (11.6 パーセント)

歳出（性質別） 6,498 億円

義務的経費 2,727 億円 (42.0 パーセント) / 投資的経費 835 億円 (12.9 パーセント) / その他経費 2,936 億円 (45.2 パーセント) / 人件費 1,520 億円 (23.4 パーセント) / 扶助費 319 億円 (4.9 パーセント) / 公債費 888 億円 (13.7 パーセント) / 公共事業費 365 億円 (5.6 パーセント) / 単独事業費 257 億円 (4.0 パーセント) / その他 213 億円 (3.3 パーセント) / 補助費等 1,349 億円 (20.8 パーセント) / 貸付金 1,118 億円 (17.2 パーセント) / 物件費 244 億円 (3.8 パーセント) / その他 224 億円 (3.5 パーセント)

注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆1,330億円となり、前年度当初予算と比べて、316億円の減少を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債および補正予算債等ならびに災害復旧事業債を除いた実質的な県債残高は今年度末見込みで6,446億円となり、前年度の同時期と比べて65億円の減少を見込んでいます。

【調整基金の残高】

今回の予算編成において、288億円を取り崩し、今年度末における残高は143億円と見込んでいます。

用語解説

【歳入】

地方交付税 自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金

県債 道路整備・学校建設などの目的で県が借りるお金

国庫支出金 農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金

【歳出】

（目的別）

公債費 県債返済などに使うお金

民生費 生活保護などの社会保障のためのお金

衛生費 医療や健康増進、環境保全などのためのお金

（性質別）

扶助費 児童手当や生活保護などに使うお金

補助費等 市町村または民間に対する補助金など

視点1 県民の安全・安心な暮らしの確保

◎有害鳥獣被害防止対策の推進 2億2,000万円

農作物被害が高い水準にあるイノシシの被害を防止するため、被害防除・捕獲対策などを進めるほか、クマなどの市街地への出没原因となっている不要な果樹の伐採などに市町村と連携して新たに取り組めます。

◎津波避難路への停電対応型夜間照明の新設・改修支援 200万円

夜間でも津波から安全に避難できるよう停電対応型夜間照明の新設および既設の夜間照明の改修を支援します。

●地震による家屋倒壊から命を守る住宅改修支援 4,500万円

能登半島地震における家屋倒壊等による人的被害を踏まえ、命を守る緊急対策として、防災ベッドや耐震シェルターの導入、居室部分の補強を高い補助率で支援します。

写真キャプション 命を守る防災ベッド

●高校生の自転車ヘルメット着用促進 3,100万円

自転車ヘルメットの着用率向上を図るため、通学等で自転車を利用する機会の多い高校生に対して、ヘルメットの購入費用を助成するほか、モデル校における啓発活動などを支援します。

●西村山地域の新病院整備に係る基本構想の策定 3,000万円

西村山地域における医療提供体制の充実強化を図るため、県立河北病院と寒河江市立病院の統合による新病院の整備に係る基本構想を策定します。

◎介護事業所における生産性向上や外国人材の受入に係る支援体制の強化 5,000万円

深刻な人手不足にある介護現場の負担を軽減するため、「介護生産性向上総合支援センター」を設置するほか、「外国人介護人材支援センター」の機能強化などによる外国人介護人材の受入拡大に向けた支援体制の強化に取り組めます。

他の主要事業

●小中学生（生活保護世帯）の通学時の連絡手段確保のための携帯電話等購入支援 700万円

○低所得世帯を対象とした冬の灯油購入費等への支援 1億4,600万円

○低所得のひとり親世帯への県産米の提供 4,000万円

◎蔵王の樹氷復活に向けた官民一体となった取組みの推進 400万円

●犯罪被害者等見舞金制度の創設 500万円

◎医療的ケア児とその家族への支援体制の充実 4,100万円

●ヤングケアラー支援のための専門コーディネーターの配置 1,200万円

●県内外の医師と後継者不足の診療所医師との医業承継に係るマッチング支援 1,500万円

●村山地域における救急医療情報システムの導入に向けた参加病院への支援 600万円

●病院薬剤師奨学金返還資金貸与の開始 400万円

視点2 県民一人ひとりの希望の実現・総活躍の促進

●「山形県こども会議」の開催等、子ども・若者の意見を聴き反映する仕組みの構築 600万円
「こども基本法」の理念を踏まえ、子ども・若者の権利を尊重しながら、さまざまな意見聴取の機会を設けることで、「こどもまんなか」社会の実現を目指します。

◎不妊検査・不妊治療に対する助成 1億500万円

子どもを望む夫婦が適切な不妊治療に踏み出せるよう、従来から実施している保険適用となる不妊治療の自己負担分への助成に加え、新たに不妊検査にかかる費用を助成します。※両方への支援は東北初

●若者による地域おこし活動への支援 400万円

若者の地域とのつながりを深め、山形の元気創出を図るため、地域の課題に目を向けて、その解決に取り組む若者の地域おこし活動を支援します。

●育休代替保育士の配置による保育士の就業環境整備 2,800万円

保育士が育児休業を取得しやすくなるよう、代替職員を年度当初等から前もって配置するための経費を支援します。※全国初

他の主要事業

◎私立学校の運営・授業料等負担軽減のための支援 74億8,900万円

○屋内スケート施設および新県立博物館の整備に関する調査検討 3,100万円

●現県立博物館における展示パネル・照明の更新等 4,000万円

写真キャプション 子どもたちの成長を支える保育士

視点3 産業・企業の活性化と未来を見すえた成長力の強化

●中小企業の事業承継の促進 700万円

県事業承継・引継ぎ支援センター等と連携して、親族承継の手法や注意点、M&A（企業の合併・買収）の効果などについて学ぶ講習会を開催し、県内企業の円滑な事業承継を促進します。

●外国人材のリレー派遣による農業の人手不足の解消 1,500万円

農業分野の人手不足への対応として、外国人材の活用に関する相談対応を行うとともに、農繁期が異なる他県と連携した外国人材の短期雇用に試行的に取り組めます。

●メタバース上の展示会への出展による県産農林水産加工食品の販路拡大 1,400万円

市場拡大が期待されるメタバース注釈（インターネット上に作られた仮想空間）上の展示会において本県の農林水産加工食品をPRし、新たな商談機会を創出します。

●XR（クロスリアリティ）を活用した新しいビジネスの創出 7,900万円

現実世界と仮想世界を融合し、新しい体験を創造する技術であるクロスリアリティを用いて、デジタル人材の育成と新ビジネスの創出を図ります。

他の主要事業

- 家庭における「置き配」の普及促進に向けた宅配ボックスの購入支援 400 万円
- 令和 6 年 4 月開学の東北農林専門職大学の運営 4 億 500 万円
- 複数の集落の機能を補完する農村型地域運営組織（農村 RMO）の形成支援 4,500 万円

写真キャプション クロスリアリティを体験する若者

視点 4 地域に活力をもたらす国内外との交流の拡大

◎若者・子育て世帯の移住促進 6,600 万円

県内への移住を促進するため、移住者への「米、みそ、しょうゆ 1 年分」の提供を行うとともに、若者・子育て世帯に対する県独自の支援金制度を創設します。

●外国人材の受入拡大・定着等に向けた「多文化共生推進プラン（仮称）」の策定および各種施策の推進 7,100 万円

あらゆる産業分野の人手不足が深刻化する中、令和 6 年度を「多文化共生元年」と位置づけ、外国人材の円滑な受入体制と能力を発揮できる環境の整備を進めます。

●観光消費拡大に向けた付加価値が高い観光地づくり 5,100 万円

旺盛なインバウンド需要を本県に取り込むため、観光消費額が高い旅行者から選ばれる付加価値の高い観光地づくりを推進します。

●デジタル技術を活用した観光情報の発信 4,400 万円

「ラーメン県そば王国やまがた」の取組みを核として、デジタル技術を活用したマーケティングを行い、個人の好みに沿った観光情報を発信することで、周遊型の観光を促進します。

写真キャプション ラーメン県そば王国やまがたフェスタを楽しむ親子

他の主要事業

- ◎やまがたフルーツ 150 周年に向けたプロモーション強化 4,700 万円
- 農村地域・企業共創の持続可能な地域づくりに向けた関係人口の拡大 3,100 万円
- 県立高校における県外出身生徒の受入れ推進に向けた取組みの展開 1,200 万円
- 庄内空港ビルの国際線と国内線の動線分離等のための機能強化に向けた基本計画の策定 700 万円
- 山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備に向けた基金の造成 5 億円

ピックアップ！

人手不足問題への対応（主なもの）

少子高齢化などを背景に、あらゆる産業分野で人手不足が問題となっています。このため、「若者等の県内定着・回帰、移住促進」をはじめとする 6 項目に取り組むことで、事業者等の人手不足克服および持続的発展を目指します。

1 若者等の県内定着・回帰、移住促進

学生等の県内定着・回帰に向けた支援、移住・定住の促進、医師・病院薬剤師・看護職員・介護職員・保育士確保対策など

2 事業承継の促進

県内企業の事業承継の促進、農業分野における経営継承の促進、診療所の医業承継の促進

3 多様な働き手の確保 外国人材

受入れ・定着に向けた総合的な対策、あらゆる産業分野における施策の推進

4 専門人材の育成・活用

専門分野における働き手の確保、副業や兼業も含めたプロ人材の活用、やまがた A I 部に対する活動支援

5 デジタルトランスフォーメーション等による生産性向上

県内企業のデジタルトランスフォーメーション推進、中小企業パワーアップ補助金、介護事業所等の ICT 技術導入支援、建設デジタルトランスフォーメーションの推進など

6 処遇改善等による離職防止

看護補助者の処遇改善支援、新規採用教員への支援員配置、女性非正規労働者の賃金向上、正社員化支援など

<6 から 7 ページ>

タイトル **県政トピックス** こんなことがありました

1) 高規格道路やスマートインターチェンジの開通に高まる期待

国道 113 号「梨郷道路」開通（令和 6 年 3 月 9 日）

日本海沿岸東北自動車道「遊佐比子インターチェンジから遊佐鳥海インターチェンジ」間開通（令和 6 年 3 月 23 日）

東北中央自動車道「山形パーキングエリアスマートインターチェンジ」開通（令和 6 年 3 月 24 日）

新潟山形南部連絡道路の一部を構成する国道 113 号「梨郷道路」、日本海沿岸東北自動車道「遊佐比子インターチェンジから遊佐鳥海インターチェンジ」間、東北中央自動車道「山形パーキングエリアスマートインターチェンジ」が相次いで 3 月に開通しました。これらは、地域の産業・観光振興につながるとともに、沿道の地域から第 3 次救急医療施設への救急搬送時間が短縮され、県民の安全・安心の確保につながります。県では、今後とも政府に整備促進の働きかけを行い、県内のみちづくりを着実に推進します。

写真キャプション 写真提供：山形河川国道事務所

2) 雪上の熱戦！やまがた雪未来国スポを振り返って

第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会開催（令和6年2月21日から24日 山形市ほか）

やまがた雪未来国スポが開催され、山形市、上山市、最上町を会場に、全国の選手たちがスキー競技4種目で熱戦を繰り広げました。本県の選手は、ジャイアントスラローム成年男子Bの佐藤慎太郎（さとうしんたろう）選手と少年男子の阿部和人選手の優勝をはじめ、18の入賞を記録するなど各種目で奮闘し、男女総合成績の天皇杯順位は、最上国体以来20年ぶりの4位となりました。例年のない暖冬、少雪の中、開催のためにさまざまな工夫が重ねられた競技会でもありました。

写真キャプション 写真提供：山形新聞社

3) 選手たちの活躍が県民の活力に

令和5年度山形県スポーツ賞授賞式（令和6年2月27日 山形市）

競技スポーツで優秀な成績を収めた方や本県の生涯スポーツの振興に寄与した方へ贈られる「山形県スポーツ賞」の授賞式が開催されました。栄光賞に選ばれたスピードスケートの重堂沙姫（じゅうどうさき）選手（県立山形中央高等学校）をはじめ、101名・7団体が選ばれました。吉村知事は、受賞者の絶え間ない努力をたたえるとともに、今後のさらなる活躍を期待し、激励の言葉を贈りました。

4) 絶品ラーメンアンドそばに舌鼓！

「ラーメン県そば王国やまがたフェスタ」開催（令和6年3月16日 山形市）

「ラーメン県そば王国」である本県の魅力を広く発信するため、「山形県春の観光キャンペーン（4月～6月）」のキックオフイベントとして、「ラーメン県そば王国やまがたフェスタ」を開催しました。やまぎん県民ホールイベント広場を会場に、県内各地から8店舗が出展し、多くの来場者が個性豊かなラーメンやそばに舌鼓を打ちました。県では、本県の多様なラーメンとそばの魅力を国内外へ発信し、知名度の向上と観光誘客に取り組んでいきます。

5) Jリーグ開幕！頑張れ、モンテディオ山形！

モンテディオ山形 vs ヴァンフォーレ甲府（令和6年3月16日 天童市）

Jリーグが2月に開幕し、モンテディオ山形は第4節でヴァンフォーレ甲府を迎えホーム開幕戦を戦いました。会場には1万人以上のサポーターが駆け付け、たくさんの声援を送りました。試合序盤から互いに譲らない攻防の中、奮闘するモンテディオ山形でしたが、0-1で惜しくも敗れました。今シーズンは始まったばかりです。ジェイツ一優勝、ジェイワン昇格に向けて、県民みんなでモンテディオ山形を応援しましょう！

クレジット MONTEDIO YAMAGATA

知事コラム

こどもまんなか山形

冬芽が元気に育って花開き、たちまち若葉がまぶしい季節を迎えました。県庁前広場でも、こい

のぼりが泳ぎ、子どもたちが笑顔で見上げる姿を見かけます。その様子を見ていると、なんだかこちらもうれしい気持ちになりますね。改めて、子どもって宝だなと実感する日々です。

昨年、私は、こども家庭庁の「こどもまんなか応援サポーター」に就任しました。これは、子どもや子育てをしている方の目線で、社会のありようを考えていこうという取り組みです。

県ではこれまでも子育て支援や少子化対策に積極的に取り組んできましたが、例えば、赤ちゃんや小さなお子さんを連れたママ・パパが外出先でも安心して授乳やおむつ替えができる場所があることは、とても大切なことですよね。そんな思いもあり、このほど県庁ロビーに「ベビーケアルーム」を設置しました。県産木材をふんだんに活用しており、木のぬくもりと香りが感じられて、ママ・パパもホッとしていただけの空間になっています。

これからも「こどもまんなか山形」、そして「子育てするなら山形県」の実現に向けて、皆さんとともに、身近にできることから取り組んでいきたいと思えます。

山形県知事 吉村美栄子

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 75

撮影場所 上山城郷土資料館（上山市）

キーワード 郷土の文化を守り、未来へとつなげる

奇習として知られる上山市民俗行事「加勢鳥」の保存会に所属する鈴木峻真さんと、ユネスコ無形文化遺産に登録された「新庄まつり」の山車（やたい）製作を行う高橋拓磨さんに、郷土の文化である祭りや行事に携わる魅力についてお聞きしました。

鈴木 峻真（すずき りょうま）さん（上山市）

1998 年生まれ。上山市出身、同市在住。高校時代に地域のボランティアサークル・ジュニアリーダーあすなろに所属したことをきっかけに、高校卒業後も地域とのつながりを持ち続けたいとの思いから、「加勢鳥保存会」に所属。若手会員として、行事の運営に携わるとともに、加勢鳥の演者として活躍している。

写真キャプション カッカッカーの掛け声とともに、藁蓑（わらみの）でつくられたケンダイをかぶり、踊りながら市内を練り歩く加勢鳥。沿道からは、五穀豊穰、商売繁盛、火の用心を祈り「祝い水」がかけられる。ケンダイから抜け落ちた藁は縁起物。その藁で女兒の髪を結うと黒髪の豊かな美人になるといわれている。

高橋 拓磨（たかはし たくま）さん（新庄市）

1987 年生まれ。新庄市出身、同市在住。幼少期に、父が山車を製作する姿を見て、「北町若連」に憧れを持つ。県外へ就職したことで一時地元を離れるものの、その後、新庄市への U ターンを機に北町若連に参加する。北町若連の山車製作では、絵付けを担当するとともに、後輩の指導にも力を入れている。

写真キャプション 新庄まつりで各町内が華やかさと卓越した技を競い合う山車。各町内の有志で組織される若連 20 団体が、能や歌舞伎、伝説などから題材を選び、山車を製作する。高橋さんが所属する北町若連では、毎年6月から製作を本格化し、ほぼ毎日のように仕事が終わった後に集まって作業をするという。

郷土の文化は次代につなぐべき財産

高校時代にボランティアサークルへ所属した鈴木さんは、活動をする中で、地元が大好きになったと言います。

「高校を卒業後、地域のためにできることを探して見つけたのが加勢鳥保存会です。奇習として知られる加勢鳥は、江戸時代に生まれ、その後一度は途絶えましたが、市民の強い思いによって復活しました。保存会は、加勢鳥という地域の文化を守り、次代につなぐための組織。私も一助になりたいと参加しました」。

以来、加勢鳥の演者として、また行事の運営にも携わっています。

「加勢鳥になって練り歩いていると、観客が後ろをついてきて一緒にカッカッカーと歌ってくれたりします。観客と一緒に、加勢鳥という行事を作り上げる感覚に、喜びを感じます」。

それはまるで音楽のセッションみたいですね、と談笑する二人。

一方、夏の風物詩である新庄まつりで、北町若連（きたまちわかれん）の山車（やたい）を製作する高橋さんは、子どもの頃から祭りが身近にあったと言います。

「父が山車を製作する姿を見て、いつか私も作りたいたいと思っていました。新庄まつりは、私たちの魂とも呼ぶべき、かけがえのない文化です。祭りでは、子どもにも山車の引手などの役割があり、大人も子どももみんなで祭りを盛り上げます」。

山車の製作が本格化する6月以降は、ほぼ毎日仕事が終わってから作業をすると言います。

「作り手はみんな素人で、先輩から技を教えてもらいながら作っていきます。完成は祭り当日の朝、なんてこともありました。最優秀賞の山車を除けば、山車は祭りの後すぐに解体されます。そんな儚さがあるからこそ、みんなで山車を作り上げた喜びや、祭りに出た山車の輝きが深く心に残ります」。

郷土の文化を未来へと残すために

高橋さんが言葉を続けます。

「小学校では、小さな山車の製作やお囃子の練習をしており、子どもが新庄まつりへの愛着や憧れを持つきっかけになっていると思います。一方で、進学や就職などで市外に出る若者が多く、山車の製作に関わる人が少なくなってきました。地域の枠に捉われず、祭りに関わってくれる仲間を見つける必要があります」。

高橋さんの言葉に鈴木さんが応えます。

「加勢鳥の演者は、一般参加者を募っています。県内外から申し込みが増え、中には外国人の参加者もいて驚いています。今後、加勢鳥保存会の会員を増やしていくためにも、SNSを使って魅力を広く発信するとともに、新庄まつりに関する小学校の取組みのように、子どもたちに郷土の文化の魅力をしっかりと伝えていくことも大切です」。

「祭りは大人から子どもまでみんなで交流できる唯一の場。これからも盛り上げていきましょう。」と話す高橋さんに、鈴木さんが応えます。

「お互いの活動が、少子高齢化で悩む各地の祭りや行事の担い手を勇気づけるものでありたいです」

ね」。

<10 から 11 ページ>

タイトル **県議会だより** 第 102 号

県会議の最新情報コチラから今すぐアクセス！

<https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

2 月定例会の概要

令和 6 年 2 月定例会は、2 月 20 日から 3 月 19 日までの 29 日間の会期で開催され、令和 6 年度一般会計予算案や令和 5 年度一般会計補正予算案など知事提出の 92 議案、議員・委員会提出の 5 議案を可決しました。また、請願 1 件を採択、意見書 5 件を可決しました。

令和 6 年度一般会計予算案については、3 月 14 日、知事から「さくらんぼを核とした県産フルーツ情報発信事業費」の事業内容を見直すため撤回したい旨の申し出があり、同月 15 日の本会議で承認しました。その後、同事業を除いた予算案が再提出され、全会一致で可決しました。

写真キャプション 着物姿で本県の伝統産業を PR

令和 6 年度各委員会の所属委員はこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/giinsyokai/shozokubetsu/r06.html>

新 副議長が決まりました

副議長選挙が行われ、第 69 代副議長に矢吹栄修議員（天童市選挙区）が選出されました。

写真キャプション 矢吹栄修 新副議長

2 月定例会で質疑質問を行った議員

詳しくはこちらから

録画中継

<https://gikai.pref.yamagata.jp/yamagatapref/vod>

会議録検索システム(注釈 2 月定例会分は 6 月以降に掲載予定)

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/outline/assemblypublic/kengikaiyamagata.html>

代表質問（2 月 28 日）

自由民主党 渋間佳寿美 議員 米沢市選挙区

◆安全保障全般 など

県政クラブ 青木彰榮 議員 長井市・西置賜郡選挙区

◆人口減少への対応 など

一般質問（2月29日・3月1日）

自由民主党 阿部恭平 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆河北病院経営健全化計画 など

自由民主党 佐藤文一 議員 新庄市選挙区

◆水道事業の地域間格差 など

県政クラブ 齋藤俊一郎 議員 東根市選挙区

◆産業政策のあり方と新産業支援機関を設立する狙い など

県政クラブ 江口暢子 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆東北公益文科大学の公立化の進捗状況 など

自由民主党 鈴木 学 議員 東村山郡選挙区

◆広域的災害に向けた消防団員確保と長時間活動への理解促進 など

自由民主党 相田光照 議員 米沢市選挙区

◆次期障がい者計画の推進の考え方と工賃向上の取組み など

予算特別委員会（3月5・6・7日）

自由民主党 相田日出夫 議員 東置賜郡選挙区

◆消防団員の確保に向けた意識の醸成 など

県政クラブ 石川正志 議員 新庄市選挙区

◆教員の負担軽減に向けた外部人材の活用 など

県政クラブ 松井 愛 議員 山形市選挙区

◆パートナーシップ宣誓制度導入後における今後の取組み など

自由民主党 榎津博士 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆「やまがた地鶏」のブランド化と生産拡大に向けた取組み など

自由民主党 佐藤正胤 議員 鶴岡市選挙区

◆企業誘致等の取組みの方向性 など

県政クラブ 梅津庸成 議員 山形市選挙区

◆住宅の耐震化の促進 など

自由民主党 加賀正和 議員 尾花沢市・北村山郡選挙区

◆フルーツ・ステーション など

自由民主党 奥山誠治 議員 山形市選挙区

◆平和友好の碑とインドネシア共和国パプア州との友好親善 など

2月定例会で採択した請願

- デジタル社会のスムーズな行政手続の推進について

2月定例会で可決した意見書

- 地域公共交通の維持・充実のための財政支援の拡充を求める意見書
- 大地震における広域避難への対応の強化を求める意見書
- 不登校児童生徒に対する多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書
- オンライン本会議の実現及び産前産後の女性議員の表決権等の確保を求める意見書
- 主権者教育の一層の推進を求める意見書

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/ikensyo-ketugi/ikensyo-ketugi.html>

令和5年度 議会政策提言

「防災減災・持続可能な地域づくり対策特別委員会」、「子育て支援・生涯活躍対策特別委員会」、「産業人材確保・生産性向上対策特別委員会」における1年間の審査・調査結果を踏まえ、県政発展に向けた政策提言を県議会の総意として取りまとめ、3月18日、森田議長から知事に手渡しました。

<審査・調査したテーマ>

- 1 県内外における大規模地震発生時の対応力強化
- 2 地域全体で安心して子どもを育てられる居場所づくり
- 3 県内教育機関と連携した産業人材の育成・確保・定着対策

詳しくはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/assemblypolicy/660000606-teigen-1.html>

県議会の女性・若者の参画に向けた取組みなどの検討結果を議長に報告しました

県議会女性・若者参画推進会議では、女性や若者の県議会への関心を喚起し、参画を促すための検討を行ってきました。県民との意見交換の対象の拡大などの検討結果を2月28日に議長に報告しました。

県議会のデジタル化に向けた取組みなどの検討結果を議長に報告しました

県議会デジタル化推進会議では、議会活動におけるデジタル化に向けた検討を行ってきました。ペーパーレス化の本格実施に向け、本会議でのペーパーレス会議システムの試行などの検討結果

を3月5日に議長に報告しました。

県議会の令和4年度の検討結果に対する令和5年度の対応状況

【バリアフリー化に向けた取組み】

本会議場傍聴席の階段が急で転倒する心配がありましたので、安全に傍聴できるようにするため、壁の両側に手すりを設置しました。

また、本会議場の傍聴者席に身障者用傍聴スペースが確保されていませんでしたので、車椅子利用者をはじめとする障がいがある方が、傍聴しやすい専用席を確保するため、床の拡張工事の設計を行いました。

写真キャプション1 傍聴席の手すり

写真キャプション2 身障者用傍聴スペース実地調査

【デジタル化に向けた取組み】

紙媒体資料に要するコストの削減・環境負荷の軽減、資料の管理・保管の効率化による政策立案機能の向上などを目的に、タブレット型端末およびペーパーレス会議システムを導入しました。令和5年9月に全議員を対象とした研修会を実施し、12月定例会の各種委員会から試行を開始しました。

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください！！

- ① 定例会の概要や議会の日程
- ② 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- ③ 可決した意見書・決議の内容
- ④ 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- ⑤ 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局政策調査室 電話番号 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

最上エリア 旬のおいしさ！ 最上アスパラガス

自然豊かな最上地域の肥沃な土壌と涼しい気候で育つアスパラガスは、甘味と食感に優れ、全国的にも高い評価を得ています。

最上地域にアスパラガスの産地が形成されて今年で20周年を迎え、栽培面積は約70ヘクタール、生産量は約500トンとなっています。地元生産者は長年の経験と栽培技術を生かして、手間を惜しまず丹精込めて栽培に取り組んでいます。

露地で栽培しているアスパラガスの収穫時期は、5月から9月です。特に、春のアスパラガスは食味が良く、旬のおいしさを味わうことができます。

冷涼な気候と生産者の高い技術で栽培された最上地域のアスパラガスは、最高の品質とおいしさを兼ね備えた食材です。ぜひ、手に取っておいしさを味わってみませんか。

写真キャプション1 元気に育つアスパラガス

写真キャプション2 太さや長さをそろえて出荷します

問い合わせ 最上総合支庁農業技術普及課 電話番号 0233-29-1322

置賜エリア 伊達な置賜四十八館（しじゅうはちだて）を訪ねて

戦国武将・伊達政宗が25歳までを過ごし愛した故郷、米沢・置賜。伊達家が領地防衛のために築いた山城や館の跡が今も各地に残っています。山形おきたま観光協議会では、伊達家の城館跡の中から選定した48か所を、「伊達な置賜四十八館」として紹介し、地域内の周遊観光を促す取り組みを実施しています。

伊達な置賜四十八館の多くは、敵の攻撃に対する防衛のために山の中腹などに造られた「山城」です。そのため、探訪の際は伊達家の歴史を知るだけでなく、トレッキングなどのアウトドアも楽しむことができます。また、例年4月から6月の花の開花時期に合わせて開催する「花と伊達な城館ウォーク」では、主要な山城と花の名所を地元のガイドと一緒に巡ることができます。置賜地域へお越しの際は、伊達家の歴史に想いをよせながら、散策してみたいはいかがでしょうか。

写真キャプション1 置賜最大級の山城「館山城」跡の上空写真

写真キャプション2 館山城跡へのトレッキングの様子

伊達な置賜四十八館についてはこちら

<https://sengoku.oki-tama.jp/dte48/>

花×伊達な城館ウォークについてはこちら

<https://oki-tama.jp/log/?l=511709>

問い合わせ 置賜総合支庁観光振興室（山形おきたま観光協議会事務局）電話番号 0238-26-6098

タイトル 県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホール（山形県総合文化芸術館）イベント情報

舞台『さるすべり』

戦前からの古家に住む独身の長女と出戻りの妹には秘密があった。その秘密の扉がある事件により開かれる。渡辺えり、高畑淳子、個性豊かな二人の豪華共演をお楽しみください！

開催日時

5月18日（土曜日） 午後3時

出演

高畑淳子、渡辺えり、松井夢（ダンス）ミュージシャン：鈴木崇朗、川本悠自

演目

『さるすべり』 作・演出：渡辺えり

料金

S席7,000円 A席6,000円 ほか

東北芸術工科大学 工芸・テキスタイルコース3年生展 『GROUND WARE 2024』

アートとデザインにあふれる11日間！芸工大生がやまぎん県民ホールからイメージするアートのカタチを展示します。

開催期間

6月12日（水曜日）から23日（日曜日）

会場

屋外イベント広場、1階ロビー

料金

無料

ららら♪クラシックコンサート ミュージカル・ガラ・コンサート

豪華スターたちが大人気ミュージカルのヒットナンバーをお届けします！

開催日時

6月29日（土曜日） 午後3時

出演

新妻聖子、May J.、加藤和樹、佐藤隆紀、山形交響楽団、司会：高橋克典 ほか

演目

『オペラ座の怪人』『キャッツ』『レ・ミゼラブル』『アナと雪の女王』より ほか

料金

S席 12,800円 A席 9,800円 ほか

詳しくは検索窓に「やまぎん県民ホール」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204

（受付時間：水曜日から月曜日の10時から19時）

山形交響楽団定期演奏会情報

第317回定期演奏会

開演日時

5月18日（土曜日） 午後7時

5月19日（日曜日） 午後3時

出演

指揮：藤岡幸夫

ピアノ：ペーター・ヤブロンスキー

演目

アルトゥロ・マルケス：ダンソン・ヌメロ・ドス（ダンソン第2番）、

グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調作品16、

ヴォーン・ウィリアムズ：交響曲第5番ニ長調

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 4,800円 B席 4,300円 ほか

第318回定期演奏会

開演日時

6月15日（土曜日） 午後7時

6月16日（日曜日） 午後3時

出演

指揮：阪哲朗

ヴァイオリン：辻彩奈 ほか

演目

モーツァルト：歌劇「魔笛」K.620 序曲ほか、

ニキシュ：ファンタジー（オペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」のモチーフによる）、

ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲イ短調作品102

会場

山形テルサ（山形市）

前売券

A席 4,800円 B席 4,300円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

問い合わせ 県民文化芸術振興課（山響） 電話番号 023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時

5月3日（金曜日・祝日） 午後2時

対戦チーム

ファジアーノ岡山

日時

5月12日（日曜日） 午後2時

対戦チーム

水戸ホーリーホック

日時

5月18日（土曜日） 午後2時

対戦チーム

ブラウブリッツ秋田

日時

6月9日（日曜日） 午後2時

対戦チーム

大分トリニータ

日時

6月22日（土曜日） 午後5時

対戦チーム

ベガルタ仙台

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興課（プロスポーツ） 電話番号 023-630-3156

旬のやまがた美食レシピ うこぎのクリームパスタ

材料（1人分）

うこぎ 20 グラム、パスタ 90 グラム、むきエビ 5 尾、ミニトマト 5 個、生クリーム 150 ミリリットル、にんにく 1 片、
オリーブオイル大さじ 2、パルミジャーノ・レッジャーノ（粉チーズで代用可）10 グラム、
塩コショウ適量、白ワイン大さじ 2

作り方

- 1 トッピング用のうこぎ（2 グラムから 3 グラム）を素揚げにする。
- 2 残りのうこぎは刻み、ミキサーにかける。ミニトマトを半分に切る。にんにくは包丁で押しつぶす。
- 3 熱したフライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ香りを出す。
- 4 白ワイン、生クリームを入れてなじませ、塩コショウを加える。
- 5 エビ、2のミニトマト、うこぎを加え、パルミジャーノ・レッジャーノを削って混ぜる。
- 6 パスタをゆで、5のフライパンへ移し、絡める。
- 7 器に盛り付け、1をトッピングしたら完成。

●レシピ提供：「食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使」我妻喜一氏

伝統野菜 うこぎ

収穫時期：3月から5月（新芽）

うこぎは独特の香りと味を有する栄養価が高い食材で、置賜地域では、米沢藩主上杉鷹山公が食用を兼ねた生垣として推奨したことで有名です。現在も3月から5月ごろに出てくる若葉や新芽を摘んで食べます。伝統的な料理法に「切り和え」や「うこぎご飯」がありますが、新しいレシピも考案されています。

問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課 電話番号 0238-26-6051

<14 から 15 ページ>

タイトル **おいしい山形インフォメーション**

山形県の人口と世帯数 令和6年3月1日現在（プラスマイナス前月比）

人口総数 1,020,218 人（前月比マイナス 1,268 人）

世帯数 400,838 世帯（前月比マイナス 310 世帯）

【試験】

山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施する予定です。

試験名 大学卒業程度

申込受付期間 4月26日（金曜日）から5月23日（木曜日）

第1次試験日 6月16日（日曜日）

試験名 短大・高校卒業程度 市町村立学校事務職員

申込受付期間 8月2日（金曜日）から8月29日（木曜日）

第1次試験日 9月29日（日曜日）

試験名 警察官 A

申込受付期間 4月16日（火曜日）から6月17日（月曜日）

第1次試験日 7月14日（日曜日）

試験名 警察官 B

申込受付期間 7月12日（金曜日）から8月26日（月曜日）

第1次試験日 9月22日（日曜日・祝日）

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 4月26日（金曜日）

短大・高校卒業程度 8月2日（金曜日）

市町村立学校事務職員 8月2日（金曜日）

警察官 A、警察官 B 4月16日（火曜日）

◆配布場所

県庁（1階受付、15階人事委員会事務局）、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）（注釈）県ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験（1次試験）を、以下のとおり実施する予定です。出願は電子申請で行います。また、今年度から小学校・特支小学部受験者を対象とした東京会場が追加となります。

◆試験日

7月13日（土曜日）

◆実施要項ホームページ公開日

4月19日（金曜日）

◆申込受付期間

4月22日（月曜日）から5月12日（日曜日）

問い合わせ 教育局教職員課 電話番号 023-630-3406

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/700026/bunkyo/kyoiku/kyoin/r7saiyo.html>

山形県病院事業局職員選考試験（看護師）

今年度の県立病院の職員選考試験を、以下のとおり実施する予定です。

◆試験日

6月15日（土曜日）、16日（日曜日）

◆申込受付期間

4月26日（金曜日）から5月23日（木曜日）

◆受験案内配布開始日

4月26日（金曜日）

◆配布場所

県庁（1階受付、12階県立病院課）、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所（東京・大阪・名古屋）注釈 県ホームページからもダウンロードできます。

臨時職員についても各県立病院で随時募集を行っております。詳しくは各県立病院までお問い合わせください。

問い合わせ 県立病院課 電話番号 023-630-2167

【募集】

地域の湧水を大募集

県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、県内外に広く紹介しています。地域で守り、大切にしている湧水をぜひご応募ください。

◆募集期間

5月16日（木曜日）から6月28日（金曜日）

◆応募対象となる湧水

良好な水質と水量を有し、地域で保全活動が行われている湧水

応募方法など詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/050014/kurashi/kankyo/mizu/meisui/meisui.html>

問い合わせ 水大気環境課 電話番号 023-630-2204

奨学金返還支援制度の助成候補者を募集します【やまがた就職促進奨学金返還支援事業】

学生やUターンを希望する社会人の方を対象に、県内で就業・定住すると奨学金の返還を支援し

ます。

学生の方（大学・短大・専門学校等）

◆やまがた若者定着枠（定員 230 名）

募集期間：5月20日（月曜日）から6月28日（金曜日）

◆産業人材確保枠（定員 50 名）

募集期間：5月20日（月曜日）から9月30日（月曜日）

◎支援額：2万6千円かける令和6年4月以降の奨学金貸与月数

（例 4年制大学の場合の最大支援額 124万8千円）

社会人の方（県内の高校か大学等を卒業した 35 歳以下の県外在住者）

◆Uターン促進枠（定員 40 名）

募集期間：5月20日（月曜日）から10月31日（木曜日）

◎支援額：県内居住・就業後3年の間に奨学金を返還した額（上限 60 万円）

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/syogakukin/syogakukinhenkansien.html>

問い合わせ 産業創造振興課 電話番号 023-630-2691

【山形県病院薬剤師奨学金返還支援事業（貸与型）】

新たに県内の病院で薬剤師として勤務する方の奨学金返還の一部を支援（貸与）します。一定期間勤務することで返還免除になります。令和7年度からの貸与を希望する方を募集します。

◆募集定員 30 名程度

◆一次締切 8月30日（金曜日）

二次締切 10月31日（木曜日）（注釈）一次で定員に満たない場合のみ

◆貸与額 年間最大 60 万円

◆貸与期間 最大 6 年間

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/kenfuku/yakuji/yakuzai shikakuho/index.html>

問い合わせ 健康福祉企画課 電話番号 023-630-2333

【お知らせ】

『矢羽根型路面表示』をご存じですか

自転車利用者が車道の左端を安全で快適に走行できるように、路面上に走る場所と方向を示したものです。「矢羽根」マークの矢印の向きに沿って、車道の左端を走行してください。

問い合わせ 道路保全課 電話番号 023-630-2610

5月は自転車月間です

自転車事故を防ぐため、自転車に乗る際は交通ルールやマナーをしっかりと守りましょう。県では、「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、自転車損害賠償責任保険などへの加入が義務となっています。自転車に乗る際は、必ず保険に加入しましょう。自転車事故の受傷者の約5割は頭部に致命傷を負っているというデータがあります。自転車に乗る際はヘルメットを着用しましょう。

県ホームページでは「やまがた愛の自転車利用虎の巻」を公開しております。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020070/bosai/kotsuanzen/jitenshajourei.html>

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

5月は消費者月間です

2024年度統一テーマ デジタル時代に求められる消費者力とは

デジタル化やAIなどの技術が急速に進展し、利便性が増す一方、リスクも多様化しています。仕組みやリスクを理解し、デジタル時代の消費生活を楽しむための基礎力を高めましょう。

消費者ホットライン 電話番号188

契約についておかしいなと思ったら不安を感じたときは、消費者ホットライン188にお電話ください。最寄りの消費生活相談窓口につながります。

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-3239

自動車税種別割の納期限は5月31日(金曜日)です

自動車税種別割は、お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアで納付できます。また、自動車税種別割の納税通知書に地方税統一二次元コードが印字されていれば、地方税お支払サイトやスマホ決済アプリを利用した納付ができます。詳しくは地方税お支払サイトおよび県ホームページをご覧ください。

地方税お支払サイトはこちら

<https://www.payment.eltax.lta.go.jp/pbuser>

県ホームページはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/020007/kenzeinoufu/kenzeinoufu.html>

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-2068

健康で快適なゼロエネルギー住宅の新築を支援します

高い省エネ性能を持つ「やまがた省エネ健康住宅」と、太陽光発電設備や蓄電池設備を併せて導入し、年間のエネルギー収支を実質ゼロとする住宅の新築を支援します。

◆主な補助要件

- 自ら居住するための住宅を新築
- 施工は県内に本店がある事業者

詳細はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/180025/kurashi/sumai/palutuke-zihozyo/20220720.html>

問い合わせ 建築住宅課 電話番号 023-630-2649

5月14日(火曜日)から20日(月曜日)はギャンブル等依存症問題啓発週間です

「ギャンブル等依存症」とは、ギャンブルなどにのめり込み、やめたくてもやめられない、自分の力だけではコントロールできない状態のことです。ギャンブル等依存症により、健康問題、多重債務などの経済的問題、家庭問題など、日常生活または社会生活に支障が生じることがあります。ギャンブル等依存症は、適切な治療と支援により回復が可能です。相談窓口などについて

は、県精神保健福祉センターのホームページをご覧ください。ご家族からの相談も受け付けています。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/091013/kenfuku/shogai/iryu/hokenfukushicenter/kakusyusoudan/izonsyou-taisaku.html>

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

「大人の救急電話相談」短縮ダイヤル変更のお知らせ（シャープ 8500 からシャープ 7119）

夜間の急病の際に、専門的な知識を有する看護師から、医療機関への受診や家庭での対処方法についてアドバイスを受けられる「救急電話相談」を実施しています。

4月から「大人の救急電話相談」の短縮ダイヤルが「シャープ 7119」に変更されました。

◆相談日時

毎日午後6時から翌朝午前8時

◆小児救急電話相談（対象 15歳未満）

プッシュ回線・携帯電話 シャープ 8000

ダイヤル回線・IP電話 023-633-0299

◆大人の救急電話相談（対象 15歳以上）

プッシュ回線・携帯電話 シャープ 7119

ダイヤル回線・IP電話 023-633-0799

問い合わせ 医療政策課 電話番号 023-630-3366

熱中症予防のポイント

- 1 のどが渇く前にこまめに水分を補給する
- 2 日傘や帽子、日陰を利用する
- 3 エアコンや扇風機で室内の温度を調整する
- 4 深酒や睡眠不足を避けるなど日頃からの健康管理を心がける
- 5 適度な運動などで暑さに備えた体づくりをする

問い合わせ がん対策・健康長寿日本一推進課 電話番号 023-630-2337

<https://www.pref.yamagata.jp/090015/kenfuku/kenko/kenko/nettyuusyou27-1.html>

『やまがた蔵王ヒルクライムルート』のご紹介

いよいよ自転車シーズンの到来です。県ではサイクルツーリズムを推進するため、主要な観光地等を結ぶサイクリングモデルルートを18ルート設定しております。このルートの中から「やまがた蔵王ヒルクライムルート」が県内初となる「国のモデルルート」に設定されました。道の駅「やまがた蔵王」を発着点に「蔵王温泉」や「蔵王エコーライン」を周遊するルートです。標高差は約1,400メートルあり、沿線には距離と標高を記したオリジナルの標石（ひょうせき）を整備しております。

詳しくは国土交通省のホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/model_route/

問い合わせ 管理課 電話番号 023-630-3138

<16 ページ>

タイトル 潜入レポート

どうなってるの!?

山形県流域下水道山形浄化センター

私たちの暮らしに欠かせない

浄化センターってどんな施設なの？

家庭から出る汚れた水もきれいに！

清潔な暮らしや、川や海の環境を守っています。

台所・お風呂場・トイレなどから出る汚れた水は、そのまま水路や川に流すと、嫌なおいや害虫が発生したり、病気の原因になったりします。また、川や海も汚れてしまいます。そのため、家庭や工場などの汚れた水を下水管で集め、きれいな水にする下水処理施設が全国で整備されています。現在、県内には34か所の下水処理施設があり、山形浄化センターは県内で一番大きな施設です。山形浄化センターでは、山形市をはじめ3市2町の家庭や工場などの汚れた水を集め、きれいな水にして川に放流しています。施設の主役は、人間の目には見えないほど小さな微生物たち。小学校のプールの何倍も大きな処理タンクの中で、たくさんの微生物が24時間休むことなく働き、水の汚れを分解しています。また、汚れた水をきれいにするときには発生する泥は、エネルギー源にもなります。施設では、泥を発酵させてバイオガスを作り、そのガスを利用して発電も行っています。施設で使う電力の約3分の1を発電しています。

写真キャプション1 発電に利用するバイオガスを作る装置

写真キャプション2 処理後は清流の魚がすめるくらいきれいな水に変身！

ヒミツポイント

<水の汚れを分解する下水処理施設の主役>

巨大な処理タンクの中には、十数種類の微生物が。その数なんと1立方センチメートルに約1万匹！タンクに空気を送ることで分解が活発になります。

<センターに近づくほどに大きくなる！>

地下に埋まっている下水管の直径は家庭付近のものが約20センチメートル。処理施設付近の下水管が一番大きく、2メートル以上！大人がすっぽり入る大きさです！

<集めて楽しいマンホールカード！>

県内には12種類のマンホールカードがあります。県流域下水道のカードは、最上川舟運を描いたカラーマンホールで、大石田町に設置されています。

<みんなも潜入！？夏休みの親子教室>

夏休みの時期に開催される親子下水道教室では、工作教室や微生物の観察など楽しいことがいっぱい！施設見学はいつでもできます。

公益財団法人山形県建設技術センター 下水道事業所 参事

生居 泰雄（なまい やすお）さん

皆さんの快適な暮らしを守るため、微生物の力も借りて、汚れた水をきれいにしています。固い紙をトイレに流したり、台所で油を流したりすると、下水管が詰まったり、微生物が分解しきれなくなります。正しく使用し、みんなで環境を守りましょう！

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和6年5月号 639号

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>